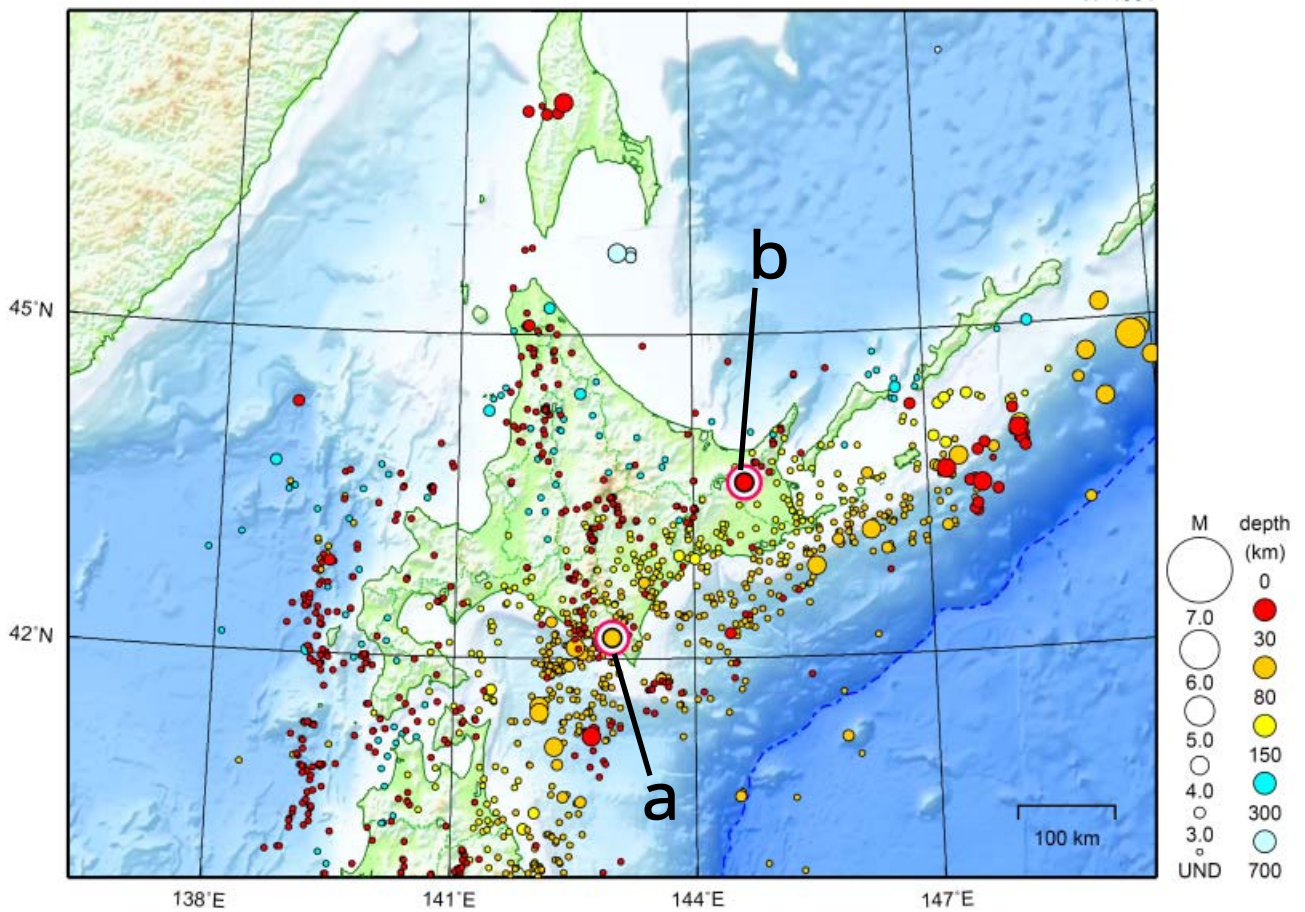


北海道地方

2009/09/01 00:00 ~ 2009/09/30 24:00

N=1364



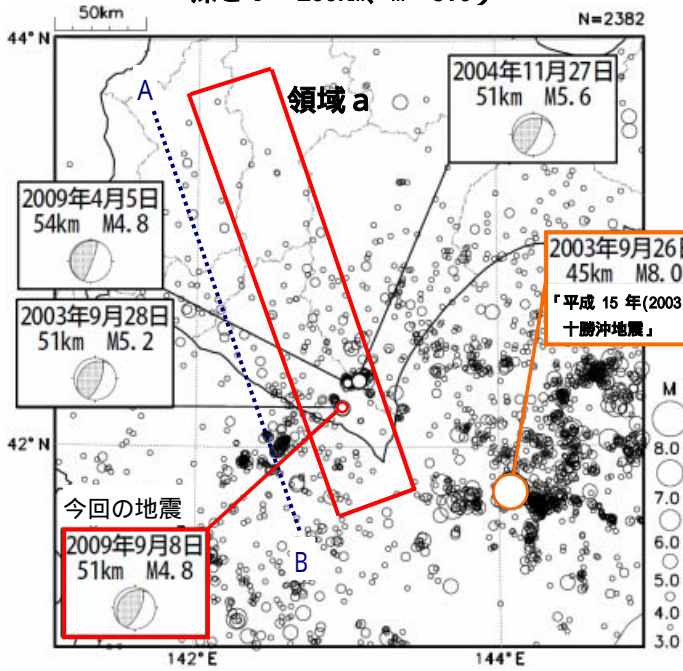
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 9月8日に日高支庁東部で M4.8 の地震 (最大震度 4) が発生した。
- b) 9月29日に根室支庁北部で M4.5 の地震 (最大震度 4) が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

9月8日 日高支庁東部の地震

震央分布図 (2001年10月1日~2009年9月30日、深さ0~200km、M 3.0)

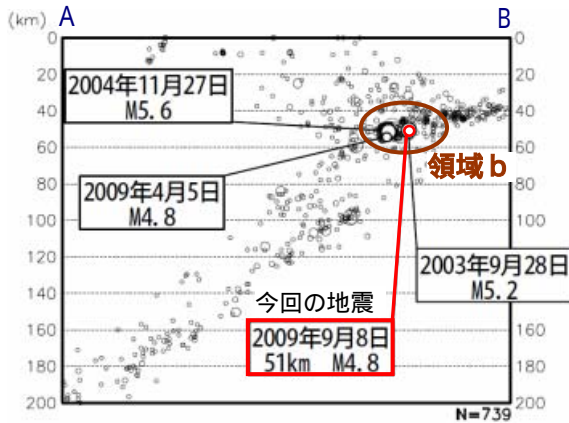


2009年9月8日01時24分に日高支庁東部の深さ51kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

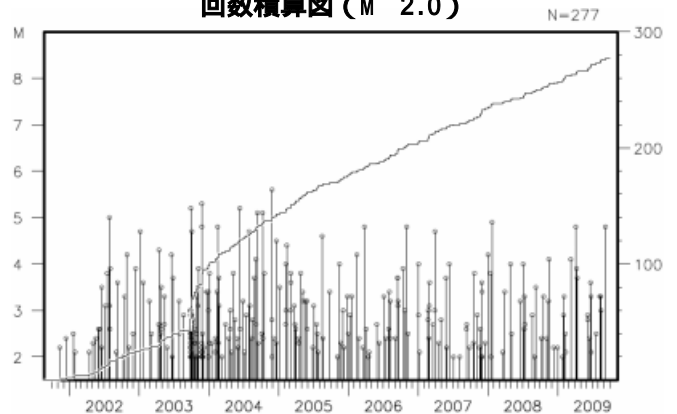
今回の地震の震源付近(領域b)は、「平成15年(2003年)十勝沖地震」の発生後に地震が増加した地域であり、2003年9月28日にはM5.2の地震(最大震度4)が発生している。

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M6前後の地震がしばしば発生している。最大は「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)で、負傷者167名や建物の被害などを生じている(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

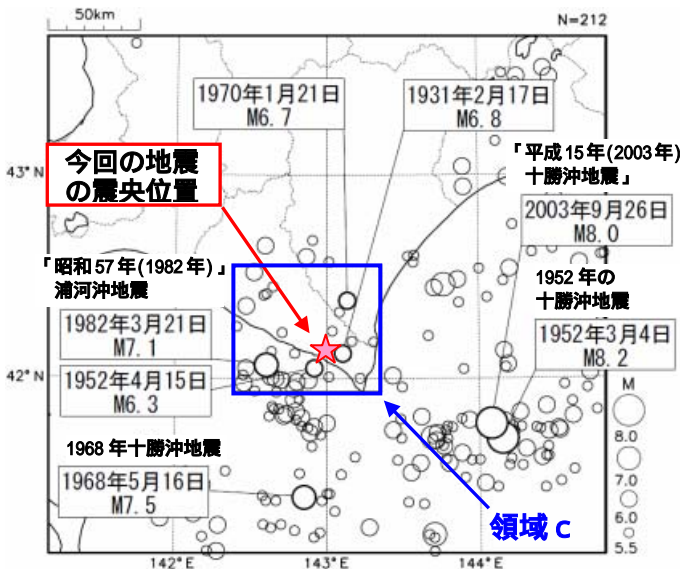
領域a内の断面図(A-B投影、M 2.0)



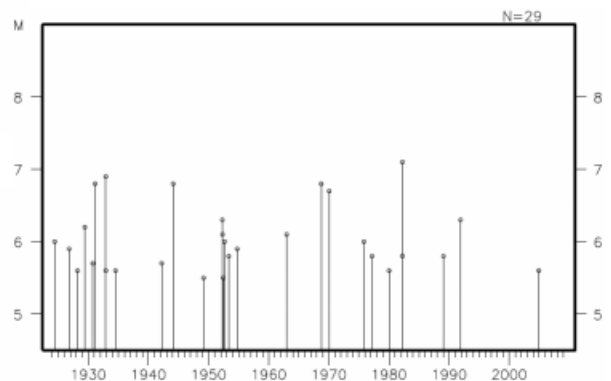
領域b内の地震活動経過図、回数積算図(M 2.0)



震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~100km、M 5.5)

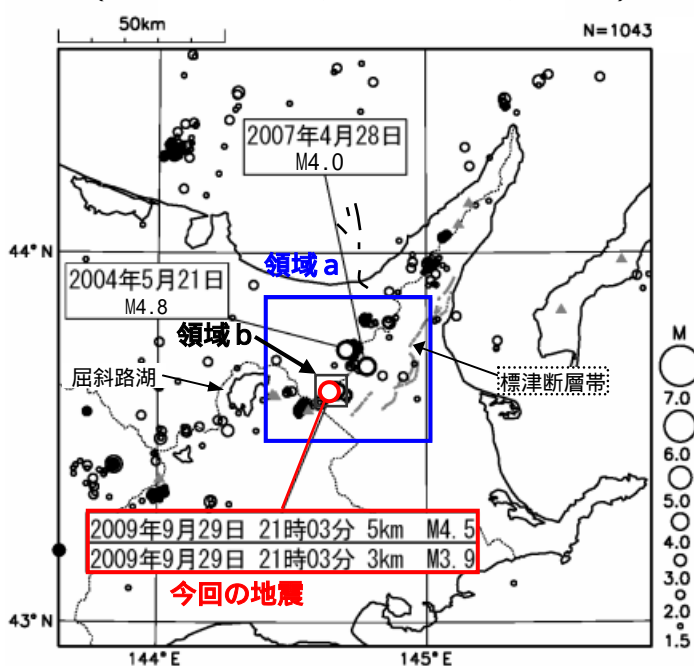


領域c内の地震活動経過図



9月29日 根室支庁北部の地震

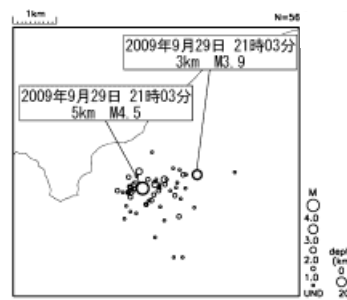
震央分布図
(2001年10月以降、深さ0~20km、M 1.5)



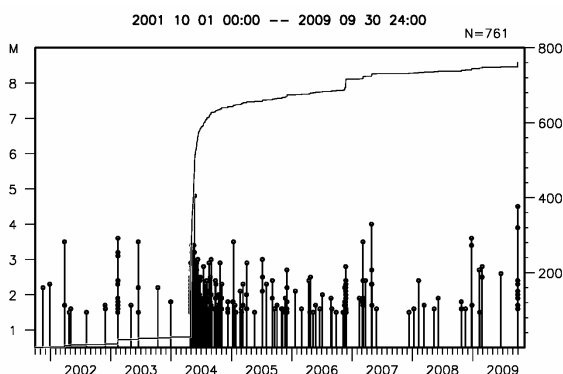
2009年9月29日 21時03分に根室支庁北部の深さ5kmでM4.5の地震(最大震度4)が発生し、25秒後にほぼ同じ場所でM3.9の地震が発生した。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域a)では、2004年5月にM4.8の地震を最大とする活発な地震活動があった。

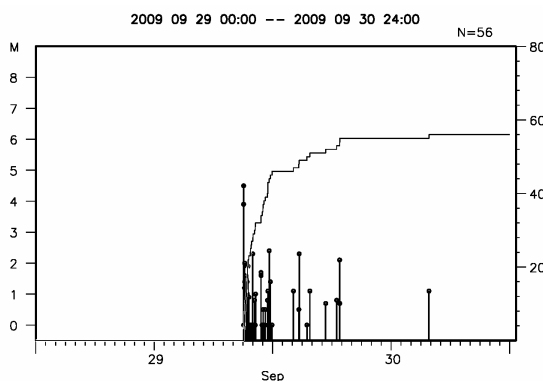
領域bの拡大図
(2009年9月29~30日、Mすべて)



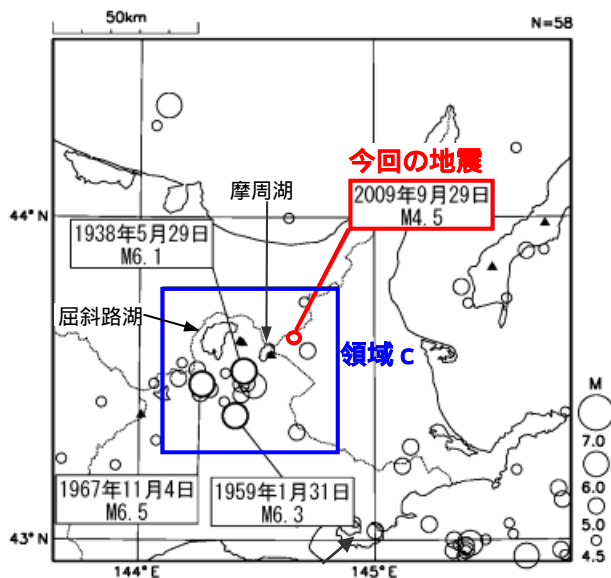
領域a内の地震活動経過図、回数積算図



上図の地震活動経過図



震央分布図
(1923年8月以降、深さ0~40km、M 4.5)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では1930~60年頃までM6クラスの地震が度々発生し被害を伴った(1938年5月の地震では死者2名他の被害(最新版 日本被害地震総覧による))が、1970年以降はM5.0以上の地震は発生していない。

領域c内の地震活動経過図

